

和令分類

四



内閣文庫	
番號	和 251
冊數	12 ( 4 )
函號	180 51

内閣文庫			
八〇	一	二五	和
函	冊	號	書
架		類	

和令分類

四

内閣文庫		
番號和	251	
冊數	12 (4)	
函號	180	51

内閣文庫			
八〇	一	二五	和
面	冊	號	書
一〇	架	類	



# 説明ターゲット

表紙の裏は糊付けの為、  
撮影不可能

一 此れ一舟にまゝをせしむる事より發公形及て遊する事

一 此れ一舟にまゝをせしむる事より發公形及て遊する事

此の事

一 此れ一舟にまゝをせしむる事より發公形及て遊する事

十月

明曆己亥年六月

一 此れ一舟にまゝをせしむる事より發公形及て遊する事

二月

明曆己亥年六月

一 此れ一舟にまゝをせしむる事より發公形及て遊する事

一 此れ一舟にまゝをせしむる事より發公形及て遊する事

一 此れ一舟にまゝをせしむる事より發公形及て遊する事

一 此れ一舟にまゝをせしむる事より發公形及て遊する事

五月

同年七月

一 河原屋町中前より中前河原屋に中前屋  
所中屋より作心并移住は紀費相上と揚町  
定金より色注一修費附移住上高費人金より定  
事

一 枕木出薪市高費よりそのより移住より  
定金枕木定額作心より八換移住よりその  
より板より定住定額より事

七月

万治元戌年十月

一 河原屋町中前より中前河原屋に中前屋より色注

河原屋町中前より中前河原屋に中前屋より色注  
定金より色注一修費附移住高費人金より定事  
一 河原屋枕木出薪市高費よりそのより移住より  
定金枕木定額作心より八換移住よりその  
より板より定住定額より事  
一 河原屋町中前より中前河原屋に中前屋より色注  
定金より色注一修費附移住高費人金より定事  
一 河原屋枕木出薪市高費よりそのより移住より  
定金枕木定額作心より八換移住よりその  
より板より定住定額より事  
一 河原屋町中前より中前河原屋に中前屋より色注  
定金より色注一修費附移住高費人金より定事  
一 河原屋枕木出薪市高費よりそのより移住より  
定金枕木定額作心より八換移住よりその  
より板より定住定額より事

十月

寛文二亥年六月

一 町中河原屋より入地より一丁後と定金 修費より  
法橋入地より町中より一丁後河原屋国板成を又

去るに及ばぬに故に所可く傍子に有るに河原を尋  
能に仕合ふ備河原に於て古蹟ありしに乃後  
事

同年十月

一 河原に上りて言ふに河原に於て能く石に上りて  
河原に上りて後仕合ふ言ふに河原に上  
河原に上りて言ふに河原に上りて事

十月

寛文十一年二月

河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事

河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事  
河原に上りて言ふに河原に上りて事

十月

宝永四年二月

海江系河原路有之云云所法地入中古史之序  
向後重抄其介物手法地入中古史之序  
重抄云云所法地入中古史之序  
云云所法地入中古史之序

三月

貞保十八年二月

是

一 今夏抄多信之云云所法地入中古史之序  
就軍所法地入中古史之序  
大田重信之云云所法地入中古史之序  
世當田重信之云云所法地入中古史之序

二月

同年六月

是

一 石高之云云所法地入中古史之序  
古川路之云云所法地入中古史之序  
石高之云云所法地入中古史之序  
一 船拂之云云所法地入中古史之序

六月